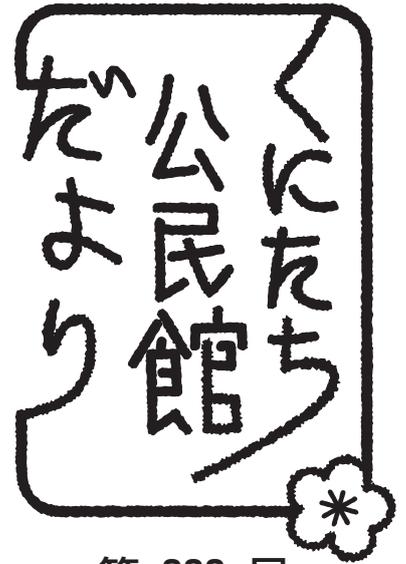


(1)



第 666 号

2015年 8月5日  
(平成27年)

発行

国立市公民館

〒186-0004

国立市中1-15-1

TEL 042-572-5141

FAX 042-573-0480

休館日：毎週月曜日

# 戦後70年目の平和を考える

## —平和関連講座参加者の声—



「シリーズ 現代社会を、私はこう生きる」(3月22日開催)  
次世代へ戦争体験を語り継ぐ「生の仕事」とは

—「若き者たちと学び成長していく」ということに参加して—  
島本 優子(喫茶「わいがや」スタッフ)

「戦争体験」のない者が、戦争

体験を「継承」し、戦争体験のない者に「語る」ことは可能か—。

この講座の講師である下嶋哲朗さんは、沖縄で元ひめゆり学徒と、高校生・大学生の若者たちとともにこの難題に取り組んだ。その実践は著書『平和は「退屈」ですか』(岩波書店)にまとめられており、若者たちが悩みながらも、それぞれのやり方で戦争と向き合う様子

が活写されている。

今回の講座の中で下嶋さんは、日本がアジア・太平洋戦争へと突き進んでいく様を、分厚い資料をもとに歴史的、経済的に分析して

示された。そのうえで、元ひめゆり学徒と若者たちの対話と実践を紹介し、その取り組みを「生の仕事」と表現している。

それでは、「生の仕事」とは、何だろうか。私なりに解釈すると、



現代社会は、様々な事件、貧困、いじめといった、いのちが脅かされる状況にあふれている。そして、

若者にとってそれはより一層顕著である。そうした状況の中、若者たちが客観的に過去の戦争を知ったり、学んだりというだけではなく、我が事として目の前の体験者の戦争に取り組むとき、立ち現れてくるものが「生」なのではないだろうか。

話は変わるが、国立市では、今年「原爆体験伝承者育成プロジェクト」を開講し、原爆体験のない者が、原爆体験を継承し、原爆体験者から渡されたバトンをつなぐため、自分なりに「生の仕事」に取り組んでいきたい。

「ピースリーディング・ワークショップ」に参加して

矢嶋 直樹(西)

五十路を前にしてようやく結婚し、長男が生まれました。平和で幸せな家庭を希求する気持ちがより一層芽生えてきました。戦後70年、日本国憲法という平和憲法と共に日本は社会と家庭が両輪となり戦後の奇跡的復興を成し遂げました。

安全・安心な社会の中で家庭を築き、子どもを育てたいという親の切なる願いとは裏腹に、現在平和憲法の改憲論議がごうごうと議論されて、国民の理解が不十分のまま防衛上、安全保障上のシステム変更の声が待ったなしの状況になっております。

子を持つ新米パパとして、子どもと家庭を守るため、傍観者として事

の成り行きを静観しているには余りあります。息子や未来を生きる世代の人々から、現在に生きる親や大人たちを怠惰で無責任であったと揶揄されることを回避するために何か新たに行動で示さなくては、と考えていた矢先に「公民館だより」で昨年度のピースリーディング・ワークショップの参加者募集の案内を目にしたのでありました。

昨年度、今年度もピースリーディング・ワークショップに参加させていただき、いろいろな気持ちや学び、共感や共有がありました。

年代や立場など様々な参加者が集まっており、参加動機もまちまち

昨年度の発表



ワークシヨップ参加者の声と「非戦を選ぶ演劇人の会」の皆様フィチャリング演出による公演を10月に見にいらっしやうて下さい。

昨年度の発表を公民館でご覧になって今年度ご参加を決められたメンバーが数人おられます。日本国憲法―平和憲法を私たちワークシヨップの参加者が声を上げて伝えたいことが、今回の開催に繋がったことを嬉しく思っております。

ちですが、朗読劇という表現媒体を通じ「声」をあげることで人に伝えて理解し、日本国憲法についての実在する人のコメントを寄せ集めて凝集した台本(国立市版)で日本国憲法を学んでいます。

ワークシヨップには公民館職員の方々も一緒に参加し、「非戦を選ぶ演劇人の会」のプロの演劇集団メンバーの指導を仰ぎつつ、参加者が自由に声を上げた。聴いていて心地良く、日本国憲法が平和憲法のハーモニーとして身体の中で振動するような感覚を覚えます。声を発しても気持ちよく、聴いても気持ちよく、ワークシヨップを終えた後は、平和の声のシャワーを浴びた爽快感が残ります。

今年度のワークシヨップでは10月18日の発表会(公民館)を目指して目下稽古中です。是非、日本国憲法―平和憲法にかける私たち



今年度のワークシヨップ

※今年度の発表会については「公民館だより」10月号に詳細掲載予定

【連続講座 近現代史講座】  
「歴史認識の国際問題化を考える」(3月13日開催)  
「歴史教科書から見た日本と韓国の歴史」(6月7日開催)に参加して  
龍野 瑠子(西)

近現代史講座が始まった。

テーマは「東アジア地域の歴史認識問題」。その1回目は、一橋大学教授・吉田裕さんの「歴史認識の国際問題化を考える」。2回目は、元学芸大学教授・君島和彦さんの「歴史教科書から見た日本と韓国の歴史」だった。

この講座は、一昨年の公民館図書室月報に、朝鮮植民地の歴史に関する書籍紹介が掲載されたことがきっかけで、改めて近現代の、特にアジア・太平洋戦争の歴史をきちんと学び直したい、という市民からの希望もあり、企画されたものだという。

吉田さんは、歴史認識問題は各々の国民や民族の自己認識の根幹に関わる問題なので、冷静さを失うと対立の火種になる、だからこそ歴史そのものを正確にみることに、また戦後史の中の歴史認識問題、という発想が大切、とお話しされた。

今年度は、4年に一度の中学校教科書採択の年。今まさに全国各地の教育委員会が採択が行われているが、歴史認識が国際問題化した

直接のきっかけの1つが、1998

2年の教科書検定問題だそう。ソウル大学の歴史教育科に2年間在籍された君島さんからは、教科書編纂側から見た、日韓の歴史教育のお話をお聞きした。

韓国ではノ・ムヒョン政権時に民主化が進み、新しい教育課程が公布され、2012年から「東アジア史」という科目が新設された。新設科目の目的は、東アジアの国家間の葛藤を克服し、共同の歴史認識の形成を目指すものだ。韓国では「東アジア史」教科書が、自国史的発想からの脱却を目指し、



講座2回目(講師:君島和彦さん)の様子

講座関連図書は公民館図書室に所蔵しています



歴史教育の方向性を変えているという。これまでも、民間レベルでは日韓や日中韓、共同編纂の歴史教材は複数作成されているが、残念ながら「教科書」という形ではない。講座の最後に、日中韓3国で共通の「東アジア史」の科目が設置され、これまでの民間交流の成果も含め、共通の歴史教科書を作成できたら……、という君島さんの希望のコメントがあった。

戦後70年の今年には、国立市公民館60周年の年でもある。秋には記念事業が行われ、記念誌やリーフレットなども作られる予定だ。公民館の歴史は、戦後の日本国憲法のもと、市民が力を合わせて築き上げてきた。公民館での多様な市民活動が今後も活発に行われ、10年後の国立市公民館70周年記念事業が、平和憲法のもと、戦後80年の日本で迎えられるようにしたい。

# 第54回 国立市民体育祭

主催 国立市体育協会加盟団体

後援 国立市教育委員会 くにたち文化・スポーツ振興財団

## ソフトボール大会

とき 一般男子の部 8月30日(日)~10月18日(日)の日曜日、小学生の部 9月13日(日)、同予備日 9月20日(日)

ところ 谷保第三公園、多摩川河川敷球場、処理場上部公園  
代表者会議 8月8日(土)小学生の部 夜6時~、一般男子の部 夜7時~、総合体育館2階会議室  
連絡先 森本090(457) 4062

## 秋季軟式野球大会

とき 9月6日(日)~10月18日(日)の日曜日(雨天順延)

ところ 多摩川河川敷公園野球場  
資格 市内在住・在勤者で編成したチーム 新規チームは要連絡  
主将会議 8月5日(水)夜7時~総合体育館 第二会議室  
連絡先 天田(577) 6203

## 硬式テニス大会

種目 女複B 9月12日(土)、男子複B 9月13日(日)、混合複B 9月20日(日)、女複A 9月26日(土)、男複A 9月27日(日)、女単・男壮年単 10月3日(土)、男単B 10月4日(日)、混合複A 10月10日(土)、男単A 10月11日(日)、ジュニア単 11月1日(日)、8日(日)各種共通予備日 10月24日(土)、11月7日(土)、15日(日)、22日(日)

## 少年野球大会

ところ 広場コート  
資格 市内在住・在勤・在学・連盟加入者。複は二人共右記いずれかに該当。壮年は当年で50歳以上。  
参加費 一般千500円 連盟加入者・学生千円 ジュニア 在住・在学・在テニススクールの小・中学生500円 右記以外の小中学生千円  
締切 8月18日(火)(ジュニアは10月9日(金))  
申込先 各クラブ理事、サンライズテニス(580) 2441  
連絡先 平田(574) 0534  
詳細は国立市テニス連盟HP参照

## バードゴルフ大会

とき 9月13日(日)~11月29日(日)の日曜日・祝日  
ところ 処理場上部グラウンド  
一部(小学5、6年生)、二部(小学4年生以下)  
連絡先 稲葉090(290) 8137

## 秋季ターゲット

とき 9月17日(木)昼12時~3時 雨天24日(木)  
ところ 谷保第三公園  
資格 国立TBG協会会員、市内在住・在勤・在学者  
参加費 1人500円  
申込方法 連絡先に電話  
申込締切 8月31日(月)

## 水泳大会

連絡先 岡田(575) 1358  
とき 9月27日(日)朝9時~  
ところ 総合体育館 室内プール  
資格 市内在住・在勤・在学・在クラブ者  
参加制限 一人2種目以内(ただしリレー、一般男女400m、チャレンジカップは除く)左図参照  
参加費 個人 1種目300円、リレーは1チーム千円※小学生は、1種目100円、リレー1チーム400円

	自由形	平泳ぎ	背泳ぎ	バタフライ	個人メドレー	リレー	メドレーリレー
小学1・2年生			25m			100m	
小学3・4年生						100m	
小学5・6年生			50m			100m	200m
中学/高校/一般							
40歳以上			25m				
60歳以上							
チャレンジカップ	100m						
一般	400m						
リレー※						100m	

※4名の合計年齢が160才以上・240才以上が参加条件。

## サッカー大会

申込受付 8月22日(土)、23日(日)いずれも昼1時半~4時、総合体育館ロビー。小中学生の参加は父母の承諾書が必要(要印鑑)。電話による申込みは受付けません。申込書は事前に総合体育館ロビーに置いてあります。競技種目・年齢区分の詳細は連絡ください。  
連絡先 中村(572) 1655(夜)

■一般の部  
とき 10月~11月の日曜日  
ところ 河川敷公園サッカー場  
資格 ①18歳以上の在住・在勤者で構成されたチーム。②日本サッカー協会認定の審判資格保持者を3名以上登録できること。③スポーツ保険に加入していること。  
④ユニフォームを正副2式所有のこと。  
参加費 1チーム1万5千円  
申込方法 ハガキにチーム名、代表者名、連絡先を明記して左記住所へ送付  
申込先 〒186-0001 国立市北1-1-7 内堀一博 宛  
締切 8月23日(日)着まで  
連絡先 内堀(577) 3248  
■少年の部  
とき 9月~11月の土曜日  
ところ 河川敷公園サッカー場及び市内小中学校校庭

資格 ①国立市サッカー協会少年部登録チーム及び市内小中学校チーム、②選手を11名以上登録できること、③大人の責任者が引率できること。引率は学生不可。

参加費 1チーム500円

申込方法 左記に電話

申込先 内堀(57) 3248

締切 8月23日(日)

### 剣道大会

とき 10月4日(日)9時～

ところ 総合体育館

資格 市内在住・在勤・在学の小中学生から高校生

参加費 国立剣道連盟会員以外500円

申込先 国立第五小学校稽古日の水曜日夜7時～8時半、日曜日朝9時～11時

連絡先 樋口(57) 7599

### 国立市市民ゴルフ大会

とき 10月8日(木)

ところ メイプルポイントゴルフクラブリゾートトラストレディス

開催コース

資格 市内在住・在勤者・ゴルフ協会役員が認めた方

方法 18ホールストロークプレー(新ペリア方式)

登録費 2千500円、賞品代・通信費・参加費

受付 郵送のみ 9月10日締切

連絡先 〒186-0001 国立市北2-10-6 関口巳之吉(57) 7454

プレー費 1万8千円 カート・キャディー・食事付

募集人員 120名(先着順)

連絡先 時田(57) 1188

### 陸上競技選手権大会

とき 10月18日(日)朝9時～(雨天決行)

ところ 一橋大学陸上競技場

種目 一般男子(13種目) 100・200・400・800・1500・5000・10000・20000・40000mリレー、(35・40歳以上)、400mリレー、走幅跳、走高飛、砲丸投、円盤投。

一般女子(8種目) 100・200・400・800m、5000m(40歳以上)、400mリレー、走幅跳、走高飛。高校生男子(9種目) 100・200・400・800・1500・5000m、400mリレー、走幅跳、走高飛。中学男子(10種目) 100・200m(学年別)、2000m、400mリレー、走幅跳、走高飛。中学女子(10種目) 100・200m(学年別)、800m、400mリレー、走幅跳、走高飛。小学生 100m、400mリレー

参加制限 リレーを除き1人3種目、女子は一般、高校の区別なし

資格 市内在住、在勤者

参加費 一般500円、高校生300円、中学生200円、リレーのみ500円、小学生200円

受付 郵送のみ 9月10日締切

連絡先 〒186-0001 国立市北2-10-6 関口巳之吉(57) 7454

### バレーボール大会

女子の部

とき 10月25日(日)朝9時～

ところ 総合体育館

抽選会 10月9日(金)夜7時～

総合体育館 2階会議室

資格 連盟加盟チーム及び市内在住・在勤・在学者(高校生以上)により構成されたチーム

参加費 加盟チーム 2千500円

未加盟チーム 7千円

連絡先 矢口(90) (245) 2319

男子の部

とき 11月3日(祝)朝9時～

ところ 総合体育館

連絡先 佐土原(57) 7661

※詳細は各連絡先まで

日本拳法大会

とき 10月25日(日)朝10時半～

ところ 総合体育館 第二体育室

試合 空乱撃・実乱撃

種目 空乱撃(小学生・中学生・一般、実乱撃(一般))

資格 市内在住・在勤・在学者及び日本拳法会員

参加費 500円

受付 10月11日(日)まで防具使用につき、必ず事前に問い合わせのこと。

連絡先 日本拳法会事務局 浅見(80) (224) 7505

### アクアスロン大会

とき 11月3日(祝)

ところ 総合体育館及び周辺

資格 小学生以上の健康な方

種目 小学生低学年の部 スイム50m・ラン0.5km 小学生高学年の部 スイム100m・ラン1km 一般の部A(中学生以上) スイム200m・ラン2km 一般の部B(高校生以上) スイム300m・ラン3km

親子の部A(小学1～3年と保護者) スイム50m・親100m ラン親子0.5km 親子の部B(小学4～6年と保護者) スイム100m・親100m、ラン親子1km

参加費 小学生低学年の部千円 小学生高学年の部千円 一般の部A千500円 一般の部B千円 親子の部A千円 親子の部B千円

受付 8月下旬より

連絡先 吉野(90) (717) 1068

秋季卓球大会

とき 11月8日(日)朝9時開場

ところ 総合体育館

資格 市内在住・在勤・在学・在クラブ・在サークル所属者および連盟登録者

種目 年代別男女、小学生・中学生・青年・40代・50代・60代・70代、一般男女(年代別重複可)

参加費 小中学生・60・70代500円 一般と他の年代別は700円

申込 10月11日(日)締切

連絡先 外谷(57) 4722

月曜休み

バドミントン大会

とき 11月22日(日)朝9時～

ところ 総合体育館

資格 市内在住・在勤・在学者

種目 一般男女ダブルス(二部・三部)

参加費 1ペア 2千円

申込受付 11月7日(土)夜6時～7時 総合体育館 会議室

連絡先 丹野(57) 8852

明田(57) 2372

ソフトテニス大会

とき 中学男女11月29日(日)朝9時～、予備日12月6日(日)、一般及びシニア男女10月18日(日)朝9時～

予備日10月25日(日)

ところ 広場テニスコート

試合 ダブルス個人戦

資格 市内在住・在勤・在学・連盟会員

参加費 1人500円(中学生無料、高校生200円)

受付 中学男女11月14日(土)・一般及びシニア10月3日(土)締切

申込先 国立市ソフトテニス連盟

連絡先 加藤(57) 4728

親子で遊ぼう・考えよう  
**プラネタリウムで  
 星を見よう!**

お話 上原 隼 (桐朋中学・高等学校教諭)  
 桐朋中学・高等学校地学部

桐朋中学・高等学校のプラネタリウムを使って、四季折々の星座や惑星のお話をさせていただきます。天気が良ければ天体望遠鏡などを見学し、太陽の黒点を見えます。

とき 8月22日(土)朝10時~11時半ごろ  
 ところ 桐朋中学・高等学校 教科教室棟(4階)  
 \*入口は北門(桐朋学園通り)です。  
 用意 上履き、靴袋をお持ちください。(土足厳禁です)  
 対象 子どもと保護者 定員 65名(申込先着順)  
 申込先 8月11日(火)朝9時~  
 公民館 ☎(572) 5141

~2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて~  
**パラスポーツをやってみよう!**  
**「ゴールボール体験講座」**

講師 高田 朋枝 (日本パラリンピアンズ協会理事)

「パラスポーツ(しょうがいしゃスポーツ)」って知っていますか? しょうがいしゃが楽しみ競い合えるように考案されたスポーツの総称ですが、ルールによって色々な人が参加できるスポーツもあります。「ゴールボール」もそのひとつです。アイシェード(目隠し)を着用した3名のプレーヤー同士が、コート内で鈴入りボールを転がすように投球し合い、相手ゴールにボールを入れ得点するパラリンピックの視覚障害者の正式種目(球技)で、晴眼者、視覚障害者ともに参加することができます。

そこで今回は、北京パラリンピックゴールボール日本代表を経験し、現在でもゴールボールの普及活動にご尽力されている高田さんに、ゴールボール、パラスポーツの魅力を教えていただき、皆で楽しめるスポーツのあり方について考え、実践していきたいと思います。

とき 9月12日・10月10日(土)夕4時~6時頃まで  
 ところ 総合体育館 第二体育室(富士見台2-48-1)  
 定員 30名(申込み先着順) ※1回のみ参加可  
 申込先 8月7日(金)朝9時~  
 公民館 ☎(572) 5141

■総合体育館へのアクセス



〈図書室のつどい〉  
**遺骨から見える戦後**  
 ~戦没者310万人の戦後史~

お話 栗原 俊雄 (毎日新聞社)

沖縄や硫黄島、シベリアで、いまでも親族の遺骨を探し続ける人々があります。

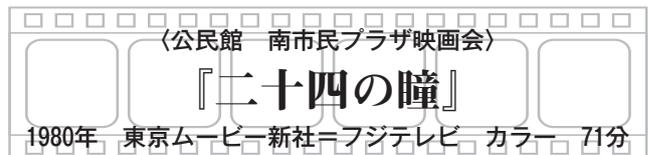
第二次世界大戦では310万人もの死者がでました。「東京大空襲」で10万人、広島原爆で14万人、長崎で7万人が亡くなりました。国外でもフィリピンやガダルカナルなどで多くの戦没者がでたことは広く知られています。

一方で、亡くなった人々の膨大な遺骨がその後どうなったのかは、あまり知られていません。日本は敗戦の焦土から復興を遂げましたが、戦後70年間、戦争にまつわるおびただしい負の遺産をそのままにしてきました。「戦没者の遺骨」はその象徴に他ならないと著者は訴えます。戦争とは? 国家とは? 遺骨から日本の戦後を見つめたいと思います。

〈栗原さんの本〉

『遺骨』『シベリア抑留—未完の悲劇—』(岩波新書)ほか

とき 8月30日(日)昼2時~4時  
 ところ 福祉会館 3階中会議室 定員 40名(先着順)  
 \*ご自由においでください。

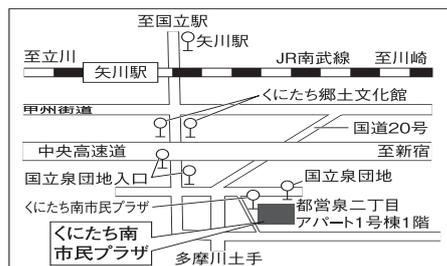


監督 実相寺昭雄、吉田しげつぐ 原作 壺井栄  
 脚本 田中澄江 ナレーター 奈良岡朋子  
 声の出演 倍賞千恵子ほか

瀬戸内海・小豆島を舞台に、分校に赴任してきた大石先生と12人の教え子たちの、20年間に及ぶ交流を描いた壺井栄の名作『二十四の瞳』を、実写とアニメーションを織り交ぜて表現するという斬新な方法で映画化。戦争に向かう時代の波に翻弄されながらも、明るく健気に生きる12人の教え子たちの姿が感動を呼ぶ秀作アニメーションです。

とき 8月23日(日)昼2時~  
 ところ 南市民プラザ 多目的ホール  
 定員 50名(当日先着順)  
 \*ご自由においでください。ただし、定員を超えた場合は入場を制限させていただきます。

■南市民プラザへのアクセス



\*JR南武線矢川駅より徒歩15分  
 \*立川バス・国立泉団地行き終点  
 \*くにたちバス「くにたち南市民プラザ」下車

第56回関東甲信越静公民館研究大会  
(兼 第52回東京都公民館研究大会)

『公民館 その新たな可能性』  
～東京発、戦後70年目の温故知新～

■基調講演

テーマ「持続可能な社会づくりと公民館」

講演者 末本誠 (神戸大学名誉教授)

■シンポジウム

テーマ「持続可能な社会づくりと公民館の

新たな可能性 (仮)」

シンポジスト

末本誠 (神戸大学名誉教授)

神代浩 (元文部科学省生涯学習政策局社会教育課長)

木下巨一 (長野県飯田市公民館職員)

井口啓太郎 (東京都国立市公民館職員)

コーディネーター

上田幸夫 (日本体育大学)

と き 平成27年11月14日(土) 朝10時～夕4時

受付 朝9時半～

ところ 小平市民文化会館 (ルネこだいら)

主催 関東甲信越静公民館連絡協議会

公益社団法人全国公民館連合会

東京都公民館連絡協議会

参加費 3,500円

申込締切 8月31日(月)

問合せ先 公民館 ☎ (572) 5 1 4 1

※開催要項 (所定の申込用紙) は市役所3階生涯学習課で  
配布しています。

公民館・NHK学園高等学校共催

地域で支える若者の生きる力

—学校から仕事へ、新しい生き方へ—

講演と対談

児美川孝一郎 (法政大学キャリアデザイン学部)

×

石井正宏 ((株) シェアするココロ)

近年、「仕事の世界」の構造的な変化によって、「学校から仕事」へのはしごは、グラグラと揺らいでいます。

誰だって学校を中退したり、卒業しても就職しなかったりすることがあるかもしれない。ある日突然、いろいろな困難が降りかかることもあるかもしれない。それを乗り越えながら自分らしい人生を歩むために、どんな選択肢があるのだろう。「仕事の世界」で生き抜くために、どんな力が必要なのだろう。大人や地域、そして学校は、どのように支えてくれるのだろう。

今回は、キャリアデザインを教える教育学者・児美川さん、高校等と連携して若者に寄り添う現場支援者・石井さんと一緒に、その「ココロ」をシェアしたいと思います。

と き 9月13日(日) 昼2時～4時30分

ところ NHK学園東京本校 (国立市富士見台2-36-2)

\* 国立駅南口から徒歩約18分。バス(4番のりば乗車)約5分「国立高校前」下車。谷保駅から徒歩約8分。

定員 100名(申込先着順)

申込先 公民館へいずれかの方法でお申込みください。

☎ (572) 5 1 4 1 FAX (573) 0 4 8 0

メール a20@whi.m-net.ne.jp

## 公民館の休館(8月・9月)に伴うお知らせ

公民館は空調設備工事のため、8月1日から全面休館に入りました。休館中は下記の代替施設を、日頃の学習活動等にご利用ください(利用は無料です)。休館明けの会場および図書室の利用に関する詳細は、「公民館だより」9月号に掲載します。休館中も講座申込み、会場申込み、その他問い合わせは、公民館 ☎ (572) 5 1 4 1 までお願いします。

■休館期間 8月1日(土)から9月30日(水)まで(※公民館の会場利用は10月10日からの予定)

■8月の代替施設 国立市立第八小学校(中1-3-1)教室(30人程度)2部屋

■9月の代替施設 ①商工振興(株)第2ビル(中1-17-26)小集会室(10人程度)

②商工振興(株)第3ビル(中1-16-32)コミュニティルーム(30人程度)

■利用時間 8月、9月いずれも朝9時30分から夜8時まで

①午前枠(朝9時30分～昼1時)②午後枠(昼1時～夕5時)③夜間枠(夕5時～夜8時)

\*①～③の中で、必要な時間をご利用ください。

\*利用できるのは、1団体につき、週(火曜～日曜)1回までです。

■申込方法

公民館(☎572-5141)までお電話ください。

受付時間は土、日、祝日を除く朝9時から夕5時まで。

\*申込み後のキャンセルは、必ず前日の夕5時までにご連絡ください。

(土日祝日利用の場合は、金曜日の夕5時まで)

\*利用日の当日申込みは受付出来ません。



休館中の受付時間は土、日、祝日を除く朝9時から夕5時まで。

### 国立市公民館60周年記念

## 〈連載〉シリーズ・私と公民館③

この連載では、公民館60周年を記念して、公民館との関わりを市民の皆さんに書いていただいています。前回は、現在公民館で活動をしている20代の若者・入山さんに文章を書いていただきました。今回は約50年前、公民館で活動していた若者たちの様子をご紹介します。

井戸 清子 (西)

公民館は60周年を迎えるのですね。今から53年前、私が20歳頃でございます。その頃の公民館は、元警察署でしたので半屋が二部屋ございました。当時青年学級と言うのがございまして、たくさんのお店で働いている店員さん達が夜8時頃から集まり、皆さんで歌を歌ったり、お話を聞かせていただいたり、また女性の方には専門の本田先生からお茶やお花を習わせていただきました。

先生方は徳永先生、伊東先生、森田先生、先生方は皆様、国立市役所の職員でいらっしゃいました。一段落しますとみんなでいろんなお話を始めます。みなさんは地方から来ていらっしゃる方がほとんどなので、方言が混ざりながらお話をなさいますと、笑いがとまらなくなるほど、楽しいお話が次から次へと続きます。時間が経つのも忘れてしまいます。私どもの家でも洋服仕立業でしたから北海道から4人のお針子さんが住み込みでいましたので、みんな青年学級に行くのを楽しみにしました。

みなさんは青年学級に少しでも早く来たいために、一生懸命にお店の仕事を終わらせ、青年学級にいらっしゃいます。みなさんはここに来ると、一日の疲れがとれると言う位楽しい青年学級だと口々に言っていました。色々な行事もありました。七夕祭りや盆踊りや地方にキャンプに行ったり、ハイキング等にもいきました。今思い出しても楽しい青年学級でした。



「公民館だより」  
1962年5月号



七夕祭りの記憶

公民館では、1960(昭和35)年8月に、「国立町商工青年学級」が発足しました。これは、当時主に東北地域から集団就職で国立町に来て、商店に住み込みで働いている勤労青年に向けて開催された公民館事業です。

今回は、当時の商工青年学級の参加者だった井戸清子さんが、公民館が60周年を迎えたことを知ってお手紙をくださいましたので、ご紹介させていただきます。1962(昭和37)年5月号の「公民館だより」を紐解くと、井戸さんが参加した商工青年学級の様子を紹介されています。当時、国立町には南部農業地域に青年団を中心とした第一青年学級が、北

部商業地域には商工青年学級がありました。(生きる希望と楽しみのために)「社会人の知識、技能の習得のために」という目標のもと、毎週3回夜8〜10時、一般教養、職業実技講座、グループ活動が行われていました。15歳から25歳までの働いている青年が約50名参加していました。

#### 公民館運営審議会報告

7月14日(火)第30期第9回定例会を開催。委員13名、館長、職員2名が出席。傍聴1名。

#### 前回の議事録確認・報告事項

○公民館だより編集研究委員会  
7月号掲載の公民館代替施設について、各委員より意見あり。

#### ○社会教育委員の会

第2回定例会を開催。生涯学習振興・推進計画に係る諮問について、市から説明。当計画は国立市初。公民館についても規定される。

#### ○東京都公民館連絡協議会

9月の委員会研修会に国立市は事例発表予定。小金井市は公民館の業務委託を検討。

#### ○休館中の代替措置について

各委員の主な意見は以下の通り。公運審として代替施設の是非を先に議論すべきであった。有料・登録制ではなく、無料で誰でも使えることの保障が大切。公民館は場所貸しだけの施設ではなく、企画や事業をするところ。代替施設は不要。利用は市民の権利、代替は用意すべき。公民館の教育事業の継続性が大事。市民活動支援の観点からはよかった。館の教育的役割を議論すべき。

#### 議事

○第29期公運審答申について  
答申中「高齢者の生きがいを得られる場づくり」を議論。次回に続く。

次回は休館につき、8月11日(火)午後7時15分から、市役所3階教育委員会室。傍聴歓迎。(富田)

今月の公民館 (8月、9月初)

\*印は参加自由、他は事前申込みが必要です。

- 22日 (土) 朝 親子で遊ぼう・考えよう  
「プラネタリウムで星を見よう！」
- 23日 (日) 昼\*南市民プラザ映画会  
『二十四の瞳』
- 26日 (水) 夜 60周年記念事業実行委員会
- 30日 (日) 昼\*図書室のつどい  
「遺骨から見える戦後  
～戦没者310万人の戦後史～」
- 9月12日 (土) 夕「ゴルフボール体験講座  
パラスポーツをやってみよう！」
- 13日 (日) 昼「地域で支える若者の生きる  
力—学校から仕事へ、新しい生き方へ」



空に向かって  
撮影 本多容子さん (谷保)

ひろば

ファミリースポーツクラブ

子どもスポーツサークル。楽しみながら全てのスポーツの基礎となる体幹をみっちり鍛えます。幼児～小学生対象。講師塩野啓子先生。体験有。お気軽にどうぞ。

日時 毎週金曜日 昼3時～4時  
場所 総合体育館 第1、第3  
連絡先 椎名090(8509) 1229

バドミントン会員募集中!

毎週学校開放日を利用して、バドミントンを楽しんでいる会です。「八小バドミントン同好会」です。初心者の方も親切に指導致します。「八小バド」で検索方

日時 毎週土曜日 午後  
場所 第四小学校等  
連絡先 水谷080(6964) 6131(夜)

国立スイミングクラブ会員募集

水泳を楽しみながら健康増進。コーチの指導を受けレベルアップを目指します。また毎夏、海や湖でオープンウォータースイムも楽しんでいきます。体験可。

日時 毎週火曜日 夜8～9時  
場所 総合体育館 室内プール  
連絡先 土山(575) 3200

デジタル写実の会員募集

デジタル写実は初心者中心のクラブです。良い写真の撮り方を学ぶ事と会員の親睦を目標とします。月二回撮影会・一回合評会を実施します。会費2千円、入会費無し。

日時 毎月第一、三金曜日撮影会  
場所 公民館または近隣の景勝地  
連絡先 竹山042(577) 8524

食アレサークル「にこにこ」

食物アレルギーの子を持つママたちでおしゃべりしませんか?卵・小麦・乳アレの3歳・1歳の子がいるママが立ちあげました。ご連絡お待ちしています!

日時 月一回火曜または木曜午前  
場所 市内の集会所など  
連絡先 大坂090(3537) 2888

ブリージング・ヨガ

ゆったりとした呼吸とポーズで、深いリラクゼーションを体験してみませんか? 初心者から経験者まで、心身の健康を目指して! 年令性別不問。体験にどうぞ!

日時 8月8日、22日朝10～12時  
場所 富士見台2丁目集会所1階  
連絡先 坂井070(5305) 3018

〈サークル訪問2007〉

NPO法人 いきいき市民協働ネット i-CAN

i-CANは一芸一能をもち寄り、バラエティに富んだ企画・活動を楽しんでいる集団。数ある事業の中で取材したのは、こども科学実験教室とパソコン教室だ。

こども科学実験教室は2003年以降、こどもの理科離れを食い止め、将来はノーベル賞も(?)と、児童館と共催で隔月に開講している。今回は矢川児童館での「ロケットカー作り」を取材。風船からふき出す空気の方で車を動かし「ニュートンの法則」の1つを体験した。この実験教材は、アジレントテクノロジ社(株)の社会奉仕活動の一環として、世界共通、毎回無償で提供をうけている。

今回の参加は小学生14名、スタッフは6名。はじめは学校の授業のようでも子ども達はモジモジ。ところが各人各様の設計図を書き、台車を作り、タイヤやストローの風の風船をつけていくうちにすっかり遊び気分に。出来上がるまで約2時間。イザ!と風船をふくらませて床に置く。サーッと走る車、エッ?と止まったままの車、急遽アチコチ手直し、結果的にはみんな立派に走った。「タノシイ!」

と笑顔が一杯! スタッフも孫世代との楽しいひと時だったようだ。

パソコン教室は2001年に開講し、特にワンポイント(自分のわからない所を学ぶ)講座・初心者講座が人気。いずれも有料だが、シニア講師陣の丁寧な指導は大変好評、市民生活の豊かなIT化に寄与している。数年前には、市・都からパソコン・タブレット講座を受託し、実施した。

その他の事業としては、よさこいソラン、見学会、エンディングノートの販売とセミナー、国立市商業協同組合と協働の花まつりなどがある。

ちなみに「くにっこ」の名称、デザイン共にメンバーの制作だ。

連絡先 川上 080(6602) 7834  
〈文 井上恵子〉



できるかな? (写真:i-CAN提供)